



啓明通信



学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
- 自分に厳しく、他をおもいやる生徒
- ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒

校訓「独立自往」

今年度実践目標

「主体的に、仲間と共に、ねばり強く、学び続けよう」

「タイムアップの笛は、次の試合へのキックオフの笛である」

課外活動振興会担当 安藤 有紀

今年も各競技で中体連が行われています。勝ち進み次のステージに歩を進めた人もいでしょうし、引退となった3年生の皆さんもいでしょう。2年と3か月に及び全力で活動に打ち込み、最上級生として部活をリードしてきた3年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。

振り返れば3年生が入学した年はコロナウイルスの猛威が続き、中体連に参加できずに最後を終えた選手もたくさんいました。また、コロナによる活動停止も珍しくなく、練習の声出しや人との接触には厳しい制限がありました。あれから2年が経ちます。未だにコロナウイルスの影響は大きいですが、競技に集中できる状況が戻ってきています。特に、今大会における最大の変化は応援制限が撤廃されたことでしょう。中体連会場にたくさんの応援の方が駆けつけ、ワンプレーごとに大歓声が響き渡る光景には胸が熱くなりました。勝っている、負けているに関わらず、これまでの全てをかけて必死にプレーする姿が観ている人の胸を打ち、それが歓声につながる。そして、歓声がまた選手の力になる。そういった場面が見られた今年の中体連は、皆さんにとっても忘れられない経験になったと思います。

一方で、目指していたところに届かず、遣り切れない思いをした人もいるかもしれません。確かにスポーツには結果がつきものです。試合に負ければ戦績はそこまで。記録はたった1行の数字にしかありません。しかし、その数字が皆さんのこれまで積み重ねた努力や感動の全てを表しているわけではありません。1球のボールに必死で食らいついたこと。1秒のために地道な練習を重ねたこと。心が折れそうとき仲間が声をかけてくれたこと。毎日練習に打ち込み、最後まで戦い抜いたこと。本気で喜び、本気で泣き、本気で悔しがり、本気で仲間とぶつかったこと。たとえ全国優勝を果たそうと、地区1回戦で敗退しようとして、これまでの日々で得たものは決して失われることはありません。

タイトルは「日本サッカーの父」と呼ばれたクラマーの言葉です。引退が決まった人にとって、中学校の部活動におけるタイムアップの笛は鳴ったかもしれません。しかし、その笛は次の挑戦への始まりの笛でもあります。ここで積み重ねた経験が次のステージでも皆さんを支え、時に背中を押してくれるはずですよ。

また、3年生の引退は同時に新チームの始まりも意味します。3年生が積み重ねてきたものが次のチームに継承され、より強く、素晴らしいチームを作り上げる礎となっていきます。

3年生の皆さんがこれまでの活動を自信にし、誇りをもって人生を歩いていくことを願っています。

学校・保護者間連絡システム「すぐーる」の導入について

現在、本校から保護者の皆様への連絡については、「じんじんメール」から「LEBER」に切り替えて運用しておりますが、この度、札幌市教育委員会にてアプリケーション型の新たな連絡システム「すぐーる」の全市一斉導入が決まりました。

それとともない、本校においても2学期から「LEBER」から「すぐーる」へ切り替えることとしました。7月11日(火)にお子様へ登録案内文書(3種類)を配付し、現在「すぐーる」への登録手続きをお願いしているところです。御多忙のところ大変申し訳ありませんが、登録手続きへの御協力をよろしくお願いいたします。

中体連選手権大会 結果報告(7月9日までの結果) ※今後の大会結果は、次号以降の学校だよりにて報告いたします。

陸上競技部	<p>中体連全市大会</p> <p>男子 200m 柳橋省吾 (3-4) →全道大会へ</p> <p>男子 800m 金城颯志 (3-6) 林育実 (3-5) →全道大会へ</p> <p>男子 3000m 第8位 堀切竜馬 (2-4) →全道大会へ</p> <p>男子リレー 第6位 ①柳田悠介(3-3)②柳橋省吾(3-4)③後藤遥歩(3-5)④堺琥央(3-2) →全道大会へ</p> <p>男子砲丸投 第2位 吉田佑乃亮 (3-1) →全道大会へ</p> <p>女子四種競技 第8位 山本稟依 (2-4)</p> <p>女子砲丸投 第2位 亀苔茉優 (3-8) →全道大会へ</p> <p>女子走幅跳 第7位 蜂谷珠梨 (3-2)</p> <p>女子 1500m 田川由季 (3-6) →全道大会へ</p> <p>女子リレー 第5位 ①澤田愛美(2-3)②今泉乃々(3-3)③蜂谷珠梨(3-2)④亀苔茉優(3-8) →全道大会へ</p>
卓球部	<p>中央・南ブロック大会</p> <p>男子個人戦 準優勝 枝村雄介 (3-8) 3位 新岡雪人 (2-3)</p> <p>女子個人戦 ベスト16 熊谷紗蘭 (3-2) 木島佑佳 (2-1) 細田美樹 (2-2) 西川 彩 (2-4) 以上6名全市大会出場</p> <p>全市大会</p> <p>男子個人戦 枝村雄介 (3-8) ベスト8 →全道大会へ 新岡雪人 (2-3) ベスト32</p> <p>女子個人戦 熊谷紗蘭 (3-2) ベスト16</p>
野球部	<p>西地区ブロック</p> <p>1回戦 啓明中 12-0 宮の丘中 2回戦 啓明中 13-4 北辰中 準決勝 啓明中 0-3 琴似中</p>
サッカー部	<p>南地区ブロック</p> <p>1回戦 啓明中 0-0 中央中(PK戦 3-5)</p>
ソフトテニス部	<p>中央地区大会</p> <p>女子団体戦 2位 佐藤夢菜 (3-8) 阿部禮 (3-5) 石川愛菜 (2-7) 大浦真那 (2-5) 山本麗月 (2-6) 中山夢 (2-5) 本間仁子 (3-3) 中村詩 (3-7)</p> <p>女子個人戦 3位 山本麗月 (2-6)・中山夢 (2-5) ペア →全市大会へ ベスト8 石川愛菜 (2-7)・大浦真那 (2-5) ペア 佐藤夢菜 (3-8)・阿部禮 (3-5) ペア</p>
男子バレーボール部	Bブロック予選 啓明中 0-2 北白石中、啓明中 0-2 元町中、啓明中 0-2 南が丘中
女子バレーボール部	予選リーグ 啓明中 2-1 八軒中、啓明中 1-2 月寒中 予選トーナメント 啓明中 1-2 新琴似中
バドミントン部	<p>地区大会 男子 団体戦 第3位 個人戦 ダブルス 齋藤有翔 (3-7)・前川将太郎 (3-7) ペア 第3位 ダブルス 片桐功大 (3-4)・白戸颯亮 (3-6) ペア ベスト8 シングルス 北野 煌 (2-4) ベスト8</p> <p>女子 団体戦 第2位 個人戦 ダブルス 高梨 心晴 (3-2)・鬼柳 沙也 (3-6) ペア ベスト8 シングルス 竹内 あかり (3-8) ベスト8</p>
剣道(個人参加)	<p>男子団体戦 1勝1敗(1次リーグ)</p> <p>女子団体戦 2勝1敗(1次リーグ)</p> <p>男子個人戦 準優勝(→7/29、30に稚内市で行われる全道大会進出) …沼崎羽流(3-1)、 3回戦進出…坂友喜(3-7)</p> <p>女子個人戦 3回戦進出…坂優凜(1-8)</p>
男子バスケットボール部	<p>1回戦 啓明中 97-33 柏中</p> <p>2回戦 啓明中 67-59 白石中</p> <p>3回戦 啓明中 67-54 上篠路中</p> <p>4回戦 啓明中 43-71 羊丘中 全市ベスト16</p>
女子バスケットボール部	<p>1回戦 啓明中 63-37 あいの里東中</p> <p>2回戦 啓明中 78-43 八条中</p> <p>3回戦 啓明中 56-74 発寒中</p>

札幌市立啓明中学校 〒064-0809 札幌市中央区南9条西22丁目2番1号

【電話】(011)561-4168 【FAX】(011)551-4914 <http://www.keimei-j.sapporo-c.ed.jp/>
学校だより『啓明通信』 令和5年度 第5号 発行責任者 学校長 須藤 勝也